

平成 27 年 11 月 30 日

研究公開用文書

研究名： 2 型糖尿病患者における AGEs と骨代謝の関連の検討
研究の概要： 2 型糖尿病では、腰椎や大腿骨の骨密度が増加しているにも関わらず、大腿骨近位部の骨折リスクが増加しており、骨密度の評価のみでは骨折リスクを誤る可能性があることが最近考えられるようになってきています。骨密度は高いけれども、骨の質が悪いことにより骨折しやすくなります。骨質が劣化する原因として、骨中に終末糖化産物 (advanced glycation end products; AGEs) が増加していることが考えられています。よって我々は、AGE reader という機器を用いて皮膚の AGEs 量を測定し、血液検査、骨密度検査、その他診療の範囲内で行っている合併症の評価 (心臓、頸動脈エコー、眼底検査、内臓脂肪 CT など) から、皮膚の AGEs 量と臨床背景や骨代謝異常などの関係を検討し、骨折リスクの有用な指標を明らかにしていきたいと考えています。
研究対象： 外来及び入院中の 20 歳以上の 2 型糖尿病患者
研究責任者： 附属市民総合医療センター 所属：内分泌・糖尿病内科 氏名：山川 正
研究実施期間： 平成 28 年 1 月 1 日 ~ 平成 31 年 12 月 31 日
連絡先： 横浜市立大学附属市民総合医療センター 所属：内分泌・糖尿病内科 氏名：山川 正 または 奈良 枝里子 〒： 232-0024 住所：神奈川県横浜市南区浦舟 4 丁目 57 番地 電話：045-261-5656 (内線:2125)